

第3学年 社会科（公民的分野）学習指導案

1 単元名 地方の政治と自治

2 単元の目標

- ・地方公共団体の活動や地域づくりについて関心を高め、それらを意欲的に追究しようとしている。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- ・調査や見学活動などを通して、地方公共団体の役割と地域づくりに関わる課題について、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その結果を提言として表現することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- ・地方公共団体の役割と地域づくりに関わる課題について資料を収集し、有用な情報を適切に選択してまとめることができる。 【資料活用の技能】
- ・住民自治を基本とする地方自治の考え方や、地方公共団体の政治や、財政の仕組みについて理解し、その知識を身に付けている。 【社会的事象についての知識・理解】

3 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
①地方自治との関わりから自分たちの住む地域の抱える課題について意欲的に追究している。 ②地域づくりに関心を持ち、進んで地域の活動に参加しようとしている。	①地方公共団体の役割と地域づくりに関わる地域の課題について、調査・見学活動をもとに、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	①情報を収集し、学習に役立つ情報を選択して適切にまとめることができる。	①首長と地方議会の関係や財政など地方公共団体の仕組みについて理解している。 ②地方自治は、住民参加による住民自治が基本であることを理解している。

4 指導と評価の計画（9時間扱い）

次	時	主たる学習活動・内容	評価の観点				評価規準及び評価方法
			関	思	技	知	
一	1	住民自治や地方公共団体の仕事について理解する。				○	・住民自治の基本や地方公共団体の仕事について理解している。 【知識①】 〔発言の内容, ワークシート〕
	2	地方自治の制度について理解する。				○	・首長と地方議会の関係を通して地方自治の仕組みについて理解している。 【知識①】 〔発言の内容, ワークシート〕
	3	地方財政の財源や使途, また抱えている問題について理解する。				○	・地方公共団体の財政について, 財源や使途, 国に依存する地方財政の問題について理解している。 【知識①】 〔発言の内容, ワークシート〕
	4	住民投票やNPOなど, 地域における住民参加について理解する。				○	・直接請求権や住民投票, NPOの活動などを通して, 地方自治における住民の果たす役割について理解している。 【知識②】 〔発言の内容, ワークシート〕
二	1	自分の住む地域の課題について予想し, 調査する計画をたてる。	○				・自分の住む地域の課題について関心を持ち, 意欲的に追究しようとしている。 【関心①】 〔発言の内容, ワークシート〕

	2	地域の課題について、調べたことを、テーマに沿ってまとめる。			○		・地域の課題について、収集した情報を、テーマにそって適切に選択して分かりやすくまとめることができる。 〔技能①〕 〔発言の内容, ワークシート〕
	3	まとめた調査結果を基にして、地域の課題解決について考える。			○		・調査結果を基にして、地域の課題解決に向けた地方公共団体への提言を考えることができる。 〔思考①〕 〔発言の内容, ワークシート〕
三	1 本時	作成した提言を、地域の実態を踏まえ、効率と公正などの視点から見直し、改善する。			○		・効率と公正などの視点から、地域づくりに関わる提言を多面的・多角的に考えることができる。 〔思考①〕 〔発言の内容, ワークシート〕
	2	講師の話聞き、自分たちの作成した提言と比較しながら、まちづくりについて考える。	○				・講師の話と、作成した提言を通して、地域づくりに関わる活動への関心を高めている。 〔関心②〕 〔ワークシート〕

#### 5 指導上の立場

○本単元では住民自治や地方自治の仕組みについて学習し、身近なまちについて調べさせることで、地域づくりに関心を持ち、進んで地域の活動に参加しようとする意欲を持たせることを主眼としている。この学習を通して、「民主主義の学校」といわれる地方自治について、関心を持ち、地域を担っていく人材としての自覚を持つきっかけとしたい。

○

生徒の実態については、削除しています。

○本単元の指導に当たっては、課題学習に取り組ませることによって、自分たちの住む地域の実態や課題に気づき、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、そこからどのようなまちづくりを行うべきかという、まちの将来像を表現していくことをねらいとしている。その際に、他の意見も聞くことでいっそう考えを深め、理想とする自分たちのまちづくりについて考えさせたい。

○本時においては、本校の研究のテーマ「学力向上を目指した授業改善と小中連携」について、社会科では目標を明確化し、活動意欲を高めるために視聴覚機器を利用し、小学校で学んだ知識や調べ学習でわかったことなどを活用し、グループ学習を進めることで、思考力・判断力・表現力を高めていきたい。

本 時 案 （第三次 第1時）

学 習  
目 標

○地域の課題解決に向けた提言について、様々な視点から多面的・多角的に考察して、  
提言を改善することができる。  
【社会的な思考・判断・表現】

学 習 活 動 ・ 内 容

教 師 の 支 援

評 価

1 前回の提言を復習する。  
○各グループの提言を確認する。

○前回の提言の内容を、パワーポイントで提示し、本時の課題について意識させる。

作東地区の課題と活性化について考えてみよう。

2 各グループの提言の問題点や改善点を考える。  
(1) 各グループの提言について講師の助言を受ける。

○講師の方から、前回の提言についてのアドバイスを受けることで、自分たちの提言の問題点や改善点について意識させる。

(2) 自分のグループの提言の問題点や改善点について話し合い、改善案をつくる。

○話し合っ改善された提言は、マグネットシートに書いてまとめさせる。  
○改善案をつくる際は、次の視点を意識させる。  
・改善案は効率・公正の観点から考えるとどうなのか。  
・改善案は実現可能なものになっているのかどうか。

○効率と公正などの視点から、多面的・多角的に地域づくりに関わる提言を考えることができる。

(観察, ワークシート)

【社会的な思考・判断・表現】

【改善点について、具体的に自分の意見を表現できない生徒への支援の例】

解決できている点とまだまだ改善できそうな点を整理して考えるように助言する。

3 各グループで改善された提言を発表し、意見交換をする。

○他のグループの提言の改善点をワークシートに記入させる。  
○講師の方にも討論に参加していただきながら、まちへの提言づくりを完成させる。

4 本時のまとめとして、各班の改善案について、自分の感じたことや意見を記入する。

○本時を振り返り、次の内容をワークシートに記入させる。  
・自分の班の改善案と実際の状況を比べてみたときの感想。  
・他の班の改善案についての意見や感想。

5 次時の予告を聞く。

○次回は、「身近な地域のまちづくり」について、実際に活躍している講師を招いて、お話を聞くことを予告しておく。